

(様式 1)

令和6年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1	施設名	(所管課)
	富山県水墨美術館	文化振興室文化政策課
2	施設所在地	
	富山市五福777	
3	施設設置年度	
	平成11	年度
4	設置目的	
	日本の風土と伝統の中で育まれた水墨画等の文化的所産を紹介し、県民の教養の向上及び文化の発展に寄与することを目的とする。	
5	施設概要	
	①建物の構造 鉄筋コンクリート造、寄棟造り日本瓦葺平屋建 ②敷地面積 14,547㎡ ③建物面積 3,456㎡ ④施設内容 常設展示室 298㎡ 企画展示室 576㎡ (288㎡×2) 映像ホール 131㎡ 図書室・情報コーナー 54㎡ 茶室寄せ棟造り日本瓦葺平屋建延面積 81㎡ 庭園 約8,700㎡	
6	指定管理者	
	公益財団法人富山県文化振興財団	
7	指定期間	
	3	年
	令和5年4月1日	～ 令和8年3月31日
8	利用者数及び利用（使用）料金収入の状況	
	(1) 利用者数（人） ※この他、参考となる指標があれば追加	
	R2	R3
	25,723	67,461
	R4	R5
	81,359	88,612
	R6	
	76,955	
	(2) 利用（使用）料金収入（千円）	
	R2	R3
	4,719	6,068
	R4	R5
	7,963	14,298
	R6	
	9,346	
	(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）	
	R2	R3
	-	-
	R4	R5
	-	-
	R6	
	-	

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

令和5年度との比較では、企画展事業数の減少(6年度:5事業、5年度:6事業)もあり、利用者数で13%、観覧料収入で35%の減少となった。
今後より一層、利用者サービスの向上を図りながら、SNS等を活用した県外旅行者やインバウンドの獲得など、利用者の増加に努めてもらいたい。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・障害を持つ方や高齢者など、すべての来館者に対し、利用者の目線に立って快適なサービス(ユニバーサルサービス)を提供するため、受付にサービスケアアテンダント資格者を配置し、利用者にやさしい運営を心掛けている。
- ・チケット代金のキャッシュレス化(クレジットカード、電子マネー、QRコード)に対応し、利用者の利便性を高めている。

(3) 利用促進(収入増)に向けた取組み

- ・4/5(金)・6(土)の両日、開館時間を20時まで延長し、中庭にあるベニシダレ桜(とやま桜の名所70選に選定)のライトアップを実施し、2日間で約350名の来館者を迎えた。
- ・通常、土・日・祝日営業の茶室「墨光庵」での呈茶業務を、人出が予想されるベニシダレ桜の満開時や、ゴールデンウィーク、県民ふるさとの日、お盆の時期などに臨時的に実施した。
- ・「北陸3県2dayパス」や「まちなかぐるっとアートチケット」事業に協力し、県外利用者の利用促進を図っている。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	・実施期間 通年 ・実施方法 エントランスホール及び企画展示室前にアンケートボックスを設置
回答者数	287名
結果	展覧会に対する感想 満足93% 普通3% 不満4% 施設・職員に対する感想 良い86% 普通12% 不満2%
結果を踏まえた改善事項	概ね満足という評価であり、今後も、お客様の声に耳を傾け、要望や苦情については、速やかに改善を図ってもらいたい。

② その他利用者の声を反映させる取組み

来館者や県民から寄せられる要望や苦情などについては、スタッフ全員が共有し、解決策を協議・検討し、施設運営に活かしている。

③ 主な苦情と対応

お客様からの苦情の中で多いのが「展示室の照明が暗い。」「キャプションの文字が小さい。」で、この2点については、展示作品に合わせた照明具合にしていることなど美術館の運営方針を丁寧に説明し、ご理解いただけるよう務めている。

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報保護規程を定め、職員に周知を図り、適切に管理されている。

(6) 関係団体との連携

職場体験「14歳の挑戦」事業の受け入れ(5/29～31 芝園中学校 生徒2名)

(7) 施設・設備の維持管理

職員による日常点検や専門業者による施設設備の保守点検等により、重大な故障・事故の未然防止に努め、1年間大きなトラブルもなく安定した施設運営が行われている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ・非常災害時のマニュアルや緊急連絡表の整備
- ・職員による施設設備の日常点検及び専門業者による保守点検の実施
- ・年1回の消防訓練の実施(令和6年度:3/11 8:30～9:10 参加者20名)

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有／無 回数(有の場合)

有	12
有	4
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

コロナ禍以前の令和元年度の利用者数(108,356人)と比較では29%減と、まだ以前の水準には戻っていない。

令和7年1月にニューヨークタイムズ社の「2025年に行くべき52カ所」に富山市が選定されたこともあり、県外旅行者やインバウンドの需要増加が見込まれる中、この機会を捉え、特徴ある水墨美術館ならではの魅力をSNSなどを利用し、県内外に情報発信するとともに、旅行会社へのPRを積極的に行い、魅力発信に努めてもらいたい。